



# 進路だより 一步一步

6号  
2018年6月5日(火)  
西原東中学校進路担当

「第1回進路希望調査」に書かれたみなさんの質問にお答えします (PART 2)

Q 8 : 体験入学では何をしますか。1人1校しか参加できないのですか。



A 8

高校によって異なりますが、体験入学では、主に「高校の説明」「校内見学」があります。そして、商業高校や工業高校では、実際に授業を受けてもらって物づくり等を体験できる学校もあります。体験入学は、中学校の授業がある時間帯に参加しますので、去年は、原則1人1校の参加でした。ただ、どうしても2校参加したいという生徒がいたら、担任の先生に相談をして、その生徒に2校行くことが必要だと判断した場合は、2校参加した生徒もいました。6月末に体験入学がある学校もあります。今から「どの高校の体験入学に参加したいか」しっかり考えていてください。高校の様子を実際に見て、高校の先生の話聞くことで高校入学後のイメージが広がると思います。必ず全生徒参加ではないのですが、高校入学後に「知らなかった」と後悔しないためにも、進学を希望している学校の体験入学にぜひ参加してください。

Q 9 : 入試問題はどのようなものができるか。



A 9

学年フロアに昨年度の入試の問題集を置いてありますので、それを見てください。小学校、中学1年、中学2年と今まで習った問題もたくさんあるので、ぜひ解いてみてください。本屋さんに行けば過去の問題集をたくさん販売しています。基本的な問題が出題されることが多いです。国語の問題にチャレンジしてみましよう。

## 【国語の問題 平成30年度入試より】(各1点です)

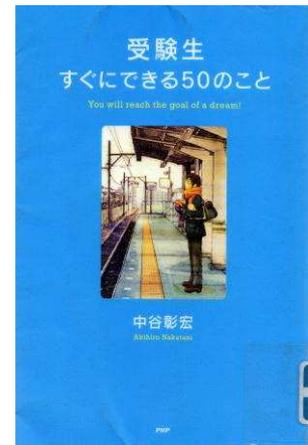
- (1) 動詞「売る」の活用の種類を次のア～エのうちから記号で答えなさい。  
ア 五段活用                      イ 上一段活用  
ウ 下一段活用                    エ カ行変格活用
- (2) ①はカタカナを漢字に直し、漢字は読みをひらがなで書きなさい。  
①はあく                      ② 営み
- (3) 「自然」の対義語を漢字で書きなさい。

→解答は裏のページにあります。

**Q10：勉強するやる気がでないときどうすればいいですか。**

**A10**

勉強は「頭」を使うものですが、それを動かすための「やる気」が必要ですね。そのためには「バランスよく食べること」「十分な睡眠をとること」で健康な体をつくるのがまず第1に大切です。そのうえで「やる気」をどうやってコントロールすればいいのか…。「勉強は才能ではない テンションだ」と教えてくれたのは『受験生すぐにできる50のこと』。内容を少し紹介すると、「22 苦手教科はどうしたらいいの？」→A好きではない教科の勉強法を考えれば、勝ち。苦手な科目のテンションを上げよう。「45 すぐに気が散って困っています」→Aとりあえず3分集中できれば、1時間集中力が続く。まず3分の集中力をもつ。参考になりましたか。西原東中学校の図書室にあるので、興味があったら読んでみてください。やる気は自分で作りだせるもののようです。自分のやる気につながる勉強方法や取り組み方を見つけていきましょう。『「勉強ができるぼく」のつくりかた』『勉強のやる気が持続できるモチメンの教科書』など、やる気が出る本や勉強のしかたの本がいろいろあるので、自分に合う本を探してみてくださいね。



**Q11：西原高校のコース制の細かい学習内容がわかりません。**

**A11**

西原高校への進学希望者が多くて、また、どんなコースがあるかわからないという質問も多かったので、西原高校のコースについて紹介します。

●健康科学コース(2クラス)

競技スポーツまたは生涯スポーツの専門的能力を身に付ける。健康の基礎を学ぶ。福祉に関する選択科目を設定し、福祉の基礎について学ぶ。強化指定種目の生徒は「競技スポーツ」という科目で専門種目の授業がある。強化指定種目(バレー男女・バスケット女子・サッカー・野球)その他に、1学年:スケート実習、2学年:野外実習、3学年:マリン実習がある。

●文理コース(4クラス)

普通科として確実な学習の基礎を身に付けて、応用力を養う。選択科目があり、一人一人の適性や興味関心にあった進路選択ができる能力を育てる。1学年:共通科目、2学年からは選択科目がある。

●特別進学コース(2クラス)

国公立大学、私立大学等など受験に必要な知識を習得する。国公立大学に現役で合格できるような学習対策をする。理系・文系の両方に対応した教育課程。早朝講座、夏期講座、模擬試験、琉球大学オープンキャンパスの参加を義務つける。

ある程度の違いがわかりましたか？また、西原高校は、「高大連携」といって、大学生と一緒に大学の講義が受講できる取り組みもあるようです。県内では、西原高校のみが実施しています。学年フロアにある「西原高校」ファイルも参考にしてくださいね。

→【入試問題の答え】(1) ア (2) ①把握 ②いとな(み) (3) 人工(人為)